

情報公開について

インフォームド・コンセントを受けない場合において、下記のとおり情報を公開します。

(研究課題名) 顎変形症患者における臨床的検討
(実施期間) 令和5年1月20日から令和8年3月31日
(意義・目的) 現在、顎変形症患者の外科的矯正治療において、手術術式や周術期管理は確立され、円滑に治療が行われています。また、社会的認知度の上昇とともに多くの医療施設において積極的に施行されるようになるにつれ、治療対象患者の増加、治療に対する患者の要望の多様化に対応すべく、より複雑な顎矯正手術が行われている現状があります。一方で、様々な合併症や偶発症が報告されており、術後の咽頭気道の狭窄や治療後に再治療を要する症例も散見されています。そこで、本研究は安全かつ確実な顎矯正手術を患者に提供するために、併発症、偶発症を抽出し、要因や対応また、骨格形態が上気道に及ぼす影響などについて検討することを目的としています。
(研究方法) 顎変形症患者等の患者基本情報（年齢、性別、体重、身長、来院経過）、生活習慣（喫煙、飲酒、食生活）、部位、骨格形態、治療内容（治療経過、挿管、麻酔、術式、出血量、手術時間、麻酔時間など）、経過観察結果、合併症などのカルテ記載事項、側貌エックス線写真やCT、MRIなどのDICOMデータおよび画像診断情報（術前および術後評価の際に撮影したものを使用）、鼻腔通気度測定値、終夜睡眠ポリグラフ検査などのデータを収集し、再治療になる要因や骨格形態別の挿管困難症例なる要因や気道狭窄のリスク、合併症が起きやすい要因などについて統計学的に評価します。 なお、本研究参加による不利益を生じること是一切ありません。
(問い合わせ窓口) 日本大学歯学部 口腔外科学第I講座 研究責任者 外木 守雄 連絡先 電話 03-3219-8082

本研究に御賛同いただけない方は、上記まで御連絡ください。